

高校地理プリント（過去問類似）
地理総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.1

名前

得点

/11

問1 近代に歩兵第18聯隊が置かれ、軍都として発展したものの、第二次世界大戦後にその広大な跡地が城址を含む公共スペースへと転用され、平和的な都市への脱却が図られた、愛知県東部の中心都市はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 岡崎市 2. 豊橋市 3. 一宮市 4. 瀬戸市

問2 日本の国際協力において、政府機関ではなく民間主導で組織され、アジアやアフリカなどの支援を必要とする途上国において、医療や教育、環境保全などの草の根の支援活動を広く展開している非営利の組織を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 国際赤十字 2. 非営利団体 3. 非政府組織 4. 非営利組織

問3 南アメリカのアンデス高地は、標高が高く低温で降水量が少ない厳しい自然環境にある。この地域において、伝統的に毛の利用や物資の運搬を目的として飼育されてきたラクダ科の家畜は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. リヤマ 2. ビクーニャ 3. グアナコ 4. アルパカ

問4 ヨーロッパの主要国のうち、18世紀以降にアジアから導入された喫茶の習慣が社会的に定着し、現在でも1人1日当たりの茶の消費量がコーヒーの消費量を上回る、かつて世界各地に植民地を展開していた島国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. イタリア 2. スペイン 3. イギリス 4. フランス

問5 ヨーロッパの主要国のうち、高い経済水準や充実した休暇制度を背景に、国民による活発な海外旅行（アウトバウンド）が行われており、国際観光支出が国際観光収入を大きく上回るため、恒常的な観光収支の赤字国となっている国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. フランス 2. ドイツ 3. マルタ 4. チェコ

問6 スカンジナビア半島や北アメリカ大陸北部など、かつて大陸氷床に覆われていた地域において、氷河の浸食作用によって形成された窪地に水が溜まることで成立した湖沼の分類を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. カルデラ湖 2. 断層湖 3. 氷河湖 4. 海跡湖

問7 発展途上国の大都市において、急速な人口流入にインフラ整備が追いつかないことで形成され、衛生的な飲料水の確保や劣悪な居住環境が深刻な課題となっている、都市内の不良住宅地区を何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ファベラ 2. パリオ 3. ゲッター 4. スラム

問8 18世紀以降、東インド会社を通じたアジアからの輸入や、アフタヌーンティーに代表される生活習慣の定着により、伝統的に茶の消費量が極めて多い一方で、コーヒーの消費量も一定水準存在する、ヨーロッパ西部の島国はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. スペイン 2. イタリア 3. フランス 4. イギリス

問9 愛知県東部の河川から取水して渥美半島などの台地へと送水する大規模な用水路で、1960年代に完成し、それまで水不足に悩まされていた地域に畑地灌漑をもたらしてキャベツなどの大産地へと変貌させる契機となった水利施設の名称を答えよ。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 愛知用水 2. 香川用水 3. 那須用水 4. 豊川用水

問10 日本の平野部において、河川の氾濫によって運ばれた土砂が堆積して形成された土壌を何というか。この土壌は水分を保持しやすいため、日本では古くから主に水田として利用されてきた。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 沖積土 2. 洪積土 3. 赤色土 4. 泥炭土

問11 地形図において、等高線が標高の低い方に向かって凸状に湾曲している部分は、周囲よりも高度が高い場所が連続する地形を示している。地形図の読図において、この地形を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 斜面 2. 尾根 3. 山頂 4. 鞍部

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 2 豊橋市	豊橋市では、戦前に歩兵聯隊や練兵場として使用されていた広大な土地が、第二次世界大戦後に豊橋公園などの公共スペースへと転用され、軍事都市から平和的な都市への脱却が図られた。このような軍用地の公園化は、日本の多くの旧軍事都市で見られた戦後復興の特徴である。
問2	答え 3 非政府組織	非政府組織（NGO）は、政府開発援助（ODA）のような政府主導の援助とは異なり、民間主導で草の根の支援活動を行う。日本のNGO団体は、アジアやアフリカなどの支援を必要とする途上国に広く分布して活動しているのが特徴である。
問3	答え 1 リヤマ	アンデス高地は標高が高く、年間を通じて気温が低い。この厳しい環境に適応するため、伝統的に寒さに強いジャガイモの栽培が行われ、毛の利用や荷物の運搬のためにアルパカやリヤマといった家畜が飼育されている。
問4	答え 3 イギリス	17世紀から18世紀にかけて東洋からの茶の輸入が進み、貴族階級から一般市民へと紅茶の飲用習慣が広がりました。この歴史的背景から、現代のヨーロッパ諸国の中でも、コーヒーに比べて茶の消費量が非常に多いという際立った特徴を持っています。
問5	答え 2 ドイツ	高い経済力を背景に国民が長期休暇（バカンス）を利用して周辺の地中海沿岸国などへ海外旅行に出かけることが多いため、観光支出が観光収入を大幅に上回る観光収支の赤字国となっている。一方、スペインなどは観光収入が支出を上回る黒字国である。
問6	答え 3 氷河湖	氷河の浸食作用（氷食）によって削られた窪地や、氷河が運んできた堆積物（モレーン）によって堰き止められた場所に水が溜まることで形成される湖を氷河湖と呼ぶ。北アメリカの五大湖やフィンランドの湖沼群などがその代表例である。
問7	答え 4 スラム	発展途上国の大都市では、地方からの急速な人口流入に対して、行政による住宅や水道などのインフラ整備が追いつかない。その結果、不法占拠地などに簡易的な住居が密集した不良住宅地区（スラム）が形成され、衛生環境の悪化や治安の問題が発生している。
問8	答え 4 イギリス	18世紀以降、東インド会社を通じて中国などから茶（紅茶）が輸入され、貴族階級から庶民へと喫茶の習慣が広がった。アフタヌーンティーなどの独特の生活文化が定着した結果、この国では茶の消費量が世界的に見ても非常に多い。また、近年はコーヒーの消費も拡大している。
問9	答え 4 豊川用水	愛知県東三河地域では、慢性的な水不足を解消するため、豊川から取水して渥美半島へと至る豊川用水が建設された。この用水の開通により、それまで痩せ地でサツマイモなどが栽培されていた台地において畑地灌漑が整備され、キャベツなどの商品作物の栽培が飛躍的に発展した。
問10	答え 1 沖積土	河川の氾濫によって平野部に堆積した土砂を母材とする土壌は沖積土と呼ばれる。水分が得られやすいため、日本では主に水田として利用されてきた。これに対し、火山活動に由来する土壌は水はけが良く畑地として利用されることが多い。
問11	答え 2 尾根	等高線が標高の低い方（ふもと側）に向かって凸状に張り出している部分は、周囲より高くなっている「尾根」を示します。逆に、等高線が標高の高い方（山頂側）に向かって凸状に食い込んでいる部分は、水が流れる「谷」を示します。これらを読み取ることで、土地の傾斜方向や起伏を把握することができます。